

KOB E から発信していた!

『COOL BIZ(クールビズ)』でも 神戸流なら『KOB E BIZ(コウベビズ)』

昨年の流行語大賞にもノミネートされた『COOL BIZ(クールビズ)』。実は神戸から発信されたものだと思っていましたか?



ファッション協会が中心とな

り発足された「ひょうごエコフ
アッション実行委員会」。メン
バーは、神戸のアパレル8社(イ
ズム、エフエルエス、ジャヴァ、
そごう神戸店、テ・ドウ・アッ
シュ、大丸神戸店、マルイ神戸
店、ワールド)、ケミカルシュ
ーズ・播州織等の兵庫県内地場
産業の代表、兵庫県、神戸市な
どで構成されている。

以前から兵庫県では、冷房温
度の節電で省エネを率先するた
め、庁内で背広やネクタイをつ
けない軽装で勤務するなどエコ
スタイルに取り組んできた。そ
して震災10年を契機として関
西広域連携協議会の「関西夏の
エコスタイルキャンペーン」に
合わせた新たなファッションを
展開。ノーネクタイでも見栄え
のするデザインを起用するなど、
夏場のオフィスでの着用を意識
した、新しくおしゃれなエコス
タイルファッションを作り出し

KOB E BIZ
KOB E BIZ

播州織とは？



200余年前に京都・西陣織の技術を導入して始まった日本を代表する先染織物です。長い伝統に裏打ちされた技術により、素材にはハリと光沢があり、また綿本来のやわらかな風合いを感じることができる。播州織の生地は色あせが少なくハリのある生地感が特徴。またKOBEBIZの生地は種類も約50種類と豊富に揃っており多く楽しむことができる。



愛・地球博で兵庫県の取り組みを紹介する井戸敏三兵庫県知事

た。

国においても、昨年度から「COOL BIZ（クールビズ）」という名称で、冷房温度28℃設定と軽装勤務の取り組みを始めている。

この取り組みを普及させるために「国連世界環境の日」である平成17年6月5日に、愛・地球博会場内のEXPOドームで環境省が主催の「クールビズコレクション」が開催された。コシノヒロコ、菊池武夫、デザインによる新しい夏のビジネススタイルのファッションショーでは13人の財界人とその企業の若手社員がモデルとして出演。また、井戸敏三兵庫県知事が出演し兵庫県の「夏のエコスタイル」の取り組みを紹介、以後、このコンセプトは一気にひろがり、流行語大賞にノミネートされるまでになった。

今年も夏がやってくる。「COOL BIZ（クールビズ）」ならぬ神戸バージョンの「KOBEBIZ（コウベビズ）」ではどんな神戸ならではのおしゃれな、そしてエコロジカルなアイテムが生まれるのか楽しみである。

パークレー BARCLAY

上質トラディショナルなスタイルが大人気。手持ちの服にあわせやすい、活躍度大なプレーンなデザインながら、存在感あるレザーで、トレンド感あふれる足もとを実現。

フーツを脱いだら何をはく？
春いちばんに欲しい！オシヤレ靴



肌なじみのいいスモークカラーのオリジナルレザーを使用。バックル付きベルトで目立ち度抜群。
¥16,800/22~24.5センチ。ダークピンクなど全5色



チーフデザイナー
縄手真弓さん

オシヤレ大好きな神戸っ子なら、まず足もとから春アイテムを取り入れてみてはいかがでしょう。

「今春夏はエスニックテイストを取り入れたデザインが特徴です。素材は、馴染んだ風合い感を出したヴィンテージレザーから焦がし革やオールメッシュ、パイソンまで、素材そのものに表情のあるものを多用しています。神戸らしく上品な軽快感が春らしい装いにもピッタリですよ」とチーフデザイナー 縄手真弓さん。

くつのまち・長田が世界に誇る、シューズメーカーのカワノ。看板ブランド『パークレー』を筆頭に、履きやすさ、安心感が加わったハイクオリティな靴が、おしゃれに敏感な女性の間で注目を集める。

ジャポニカ japonica

西陣織や博多織など、日本の伝統素材を使った粋なデザイン。イタリア国際靴見本市「MICAM (ミカム)」にも出展、世界のバイヤー、メディアから注目を集める。



綿和柄プリントを鼻緒風にあしらったべたんごサンダル ¥15,750 / 23~24センチ



純和風なかがりチリメンがエナメルと組み合わせられ、ポップな印象に ¥17,850 / 23~26.5センチ



蝶をかたどった小さめスタッズがキュートなサンダル。細めのストラップで華奢な印象も。¥16,800 / 22~24.5センチ。黒、茶、ベージュなど全7色



ワンランク上のエスニックを目指すなら、カラーストーンをあしらったこんなミュールがおすすめ。¥16,275 / 22~24.5センチ。白、カーキなど全5色

BARCLAY

フリドール PRIXDOR

人気のウエッジソールをはじめ、ストロー素材やフラワープリントなど、異素材を組み合わせ遊び心あふれる一足に。春の着こなしの鮮度アップにぜひ投入したい句靴ぞろい!

カラフルなエスニック柄のインソールがユニークな表情 ¥12,600 / S・M・Lサイズ



天然石が足先でゆれる、シックなウエッジソールのサンダル ¥12,075 / S・M・Lサイズ

“familiar Style”は 神戸・阪神間のライフスタイル

2006年秋冬に先駆けてファミリア新商品の展示会が開かれた。神戸っ子なら誰でも知っているファミちゃん、リアちゃん、スヌーピーもいる。ベビーからボーイズ、ガールズ、ママのためのファッションも。「いつでもどこかに機能性を意識して

いる」というデザイナーの木下直美さんは、子ども服のデザインを手がけた後、結婚、出産を経て復帰。子ども服とマッチする上品なファミリアらしさが魅力。
新しい感覚で空間造りを担当しているのが岡崎忠彦さん（商



ファミリア本社展示会場にて。岡崎忠彦代表取締役社長（左）と岡崎忠彦商品本部副部長兼CIOオフィス統括マネージャー（右）

品本部副本部長兼CIOオフィス統括マネージャー）。ファミリア名誉会長の故・坂野惇子さんの孫にあたる。子どものころ、週末になると祖父母の家に泊まりに行き、惇子さんに次の日に着る服を「面白い？ ダメ？」とプレゼンテーションし、祖父の通夫さんには「子分」と呼ばれ、連れ歩かれるうちに知らず知らず店づくりを教わったという忠彦さん。新展開する「A familiar Place」は子どもの心と、かつて子どもだった私たち大人の心の中にあるファミリアな場所。「そこには木があります。木は枯れて葉を落とします。種が散り、そこから芽が出て、また木が育ちます」。祖母が残した、ものづくりの原点に戻ろうという思いがある。

「ファミリアの原点は4人の女性が母としての愛情を持つて始めたところにあります。深い思いを持つ人たちに支えられ、ここまでできました。56年を経て、サードジェネレーションに受け継がれようとしています。一人の力では何もできません。チームワークを組み、ファーストジ



2006年 秋・冬のテーマ「A familiar Place」



デザイナーの木下直美さん



familiar

■神戸市中央区相生町1-1-21
☎078-360-1234



エネレーションの思いを伝えて
いつてほしいですね」と社長の
岡崎晴彦さんは話す。商品は2
シーズン各2冊の「familiar
Style」に掲載し、
ファミリアファンをはじめ各方
面に約9万5千部が届けられる。
「単に商品紹介のカタログとい
うのではなく、店舗では伝え切れ
ないスタイルを紹介しています。
これは神戸・阪神間が持つ独特
なライフスタイルに通じるもの
だと思っています」と岡崎社長。
スタイルを決めるハードを充
実させてきた。今、カルチャー
面で中身をさらに充実させるソ
フトを模索している。

2006 ファッション フェア 神戸ファッション専門学校

神戸ファッション専門学校と神戸文化短期大学、神戸ファッション造形大学による『2006福富学園 ファッションフェア』が、1月28日、新神戸オリエンタル劇場にて開催された。デザインコンテストとショーの2部構成からなるフェアは、学生達の創造活動の集大成。次代を創る若き才能に期待する企業の協賛も多く、各方面から高い注目を集めている。

“学んだ成果を作品で示す”を身上に学内外のコンテストへ積極的に参加し、実力を示す機会に恵まれていると評判。なかでも同フェアのパリクチュール組合学校賞に選ばれた学生は奨学金を受け、クチュール組合学校に留学できるので、学生達の取り組みも一際力が入る。手の

神戸新聞社賞

神戸市長賞

込んだ秀作が発表されるたびに会場の観客を魅了していた。



田崎真珠賞

大賞 福富芳美賞



「神戸ファッションコンテスト2005」 シューズ部門 特選

海外留学を目指す若手クリエイターを対象とし、今年で第32回を迎える「神戸ファッションコンテスト」のシューズ部門にてシューズコースの岡竹景子さんが特選に選ばれた。今後、イタリアのマランゴニ学院へ1年間の留学のチャンスが与えられる。



野村江利さん

アパレルテクニカルコース

シルエットや形にこだわってデザインしました。テーマは「結び目」で人と人とのつながりを表現しています。背中に垂らした紐で結び目を作り、ゆらゆら揺れるデザインが特徴です。

憧れのパリ・オートクチュールの世界 ～パリクチュール組合学校との提携～

KFIはシャネルなどのメゾンが会員として名を連ねる、オートクチュール組合運営のパリクチュール組合学校と提携。パリから招聘した講師の技術指導が受けられる。



フローランス・ベルトラン先生の
デザイン画の実習授業

パリクチュール 組合学校賞



近藤絵理さん
アパレルテクニカルコース
ジャケットの表面に樹脂を流し、固めて、服の自由をあえて無くしました。過度な装飾を無くしたのは、現代に流行する過度な装飾、戦争やテロなどをもたらすものに歯止めをかけるというテーマから。パリでは服づくりを取り巻くたくさんのことを学びたいです。



第4回ディスプレイコンテストの大賞作品「妖艶」

充実した学習環境
創立69年を迎える神戸ファッション専門学校は、1937年の開校以来、デザイナー、パタンナー、ファッションアドバイザーなど即戦力として通用する人材を育成してきた。
カリキュラムは、目標とする職種別に8コースが用意されている。授業は、デザインやア



立体裁断をはじめ、ファッションの本場・パリの最先端技術を身につけられる

パレル企画、パターン、立体裁断、ファッションコーディネート、ショッパ企画、ディスプレイ、縫製や服飾工芸、商品知識をはじめ多岐に渡る。
ブランド企画と学外での発表、ディスプレイ作品と専門家の審査によるコンテスト、地場産業である靴業界の支援を受けたシューズコースの作品展など学生の実力を試す場も多い。ファッションの街神戸にふさわしい特色を持つ実力校である。

KOBE FASHION INSTITUTE 神戸ファッション専門学校

- ファッションクリエイター学科 (3コース・3年)
アパレルデザインコース／アパレルテクニカルコース／オートクチュールコース
- ファッションビジネス学科 (5コース・2年)
ファッションアドバイザーコース
スタイリスト&コーディネーターコース
ファッショングッズコース
シューズコース
ファッションデザインコース



寮完備 (女子)

〈学校説明会〉

5月13日(土) 27日(土)
6月10日(土) 24日(土) 以上14:30～16:00
7月8日(土) 22日(土)
13:00～15:00

〈夏休み体験入学〉

7月下旬～8月
詳細はお問い合わせ下さい
TEL.078-241-8611

〈KFI MOVE開催〉

日時 7月28日(金) 29日(土)
会場 兵庫県立美術館
内容 ファッションショー・作品展示



神戸市中央区国香通6-7
TEL.078-241-8611 FAX.078-241-8614
<http://www.kfi.ac.jp/>



▶ シュウテ邸の前で



新井満 〈作家〉 KOBEを歩く 〈後編〉

撮影・古川貴浩

電通マンとしての第一歩を踏み出したところの新井満さんが10年を過ごした街・神戸。「06年は何故か自分でも分からないが、どうしても来たくなかった」と言う。震災後、初めて歩く神戸の街並みは変わっただろうか。

風通しが良くて、
ぬみのない街・神戸

再度山の外国人墓地をあとにして異人館通りへ向かう。ずつと気にかけていた震災で壊滅的な被害を受けた異人館街復興のようすを自分の目で確かめたいというのも、満さんが今回神戸を訪ねた目的のひとつ。シュウエケ邸の前で車を降り、通りをぶらっと歩く。六甲おろしが吹き抜ける下界もやはり寒い。

「神戸はこんなに風通しのいい街だったんだなあ。交通の要所になる港街の中でも神戸はとりわけ風通しがいいね。人間が溜まらず、関係もサッパリしている。何もぬまないから物も腐らない街だね」

と、久々の神戸の改めての印象。



◀ グリル十字屋の三代目と



▶ 旧居留地十五番館にて

変わらない街の姿を確かめるようにファインダーをのぞく。

「電線をスッキリさせて再建できなかったのは残念だね」と、ちよつと苦言も呈す。

「ぼくのふるさとはは災難がふりかかるみたいだなあ」。生まれ故郷の新潟も地震で大きな被害を受けた。

受け継がれていくいのち。
それが再生

昼食は「グリル 十字屋」を目指す。満さんがサラリーマン生活を送っていたのがこの界限。あいにく満席。相変わらずの繁盛ぶりだが、何だか雰囲気が違う。顔を出した三代目マダムというより、かわいいお嬢さん、偶然にもほんの3週間ほど前にリニューアルオープンしたばかりだと聞く。残念なことに、先代と奥さまは相次いで亡くなられたとか。満さんが神戸で過ごした当時は健在だった、とてもハイカラな初代マダムについて「祖母は不思議と英語もしゃべっていました。お客さんに船乗りさんが多かったからでしょう」



◀ルミナリエ大通りにて



▶市立博物館ロダンの彫刻の前で

と思い出を話してくれた。

今はお嬢さんがご主人との二人三脚で切り盛りしている。リニユアルした店内には、昭和8年の創業当時の歴史を刻む家具やストーブ、絵画、小物などが上手に配置されていて、違和感なく同化している。

思い出をたどるように考えていた満さんは「25年ぶりだ」と感慨ぶかけ。

「いのち、つまりDNAはバトンタッチされていくもの。先代から今のマダムへ、そしてその子どもたちへと。死んで、そして再生する。いのちは永遠に不滅だということ。神戸の文化的なDNAも同じことだろうね。」そして、ちつとも変わっていない「ハイシライス」の味に舌鼓をうつ。「ハイカラ神戸」の洋食DNAを受け継ぎ守り続けている若い三代目夫婦に拍手。

変化して何もなくなり、そこから何かが始まる

旧居留地を歩く。神戸開港以来のエキゾチックな雰囲気を残しながら、ブランドショップ、ブティック、カフェが並ぶ新し



い街に生まれ変わった。「旧居留地十五番館」は震災で倒壊したが、建材をそのまま使い、さらに免震構造で復元され、今や人気のカフェ。

最後に、再生したメリケン波止場へ向かう。震災前の活気は戻らないものの、新しい港として稼動している。

「街の形は変わった。まさに般若心経の一行『色即是空』だね。すべての存在は空である。空とは変化すること。変化した結果、無くなってしまうこと。ここから新井流自由訳の重要なところ。『空即是色』…、つまり同じ変化でも減じるのではなく、始まるということ。そして新しい何かが生まれる。般若心経が千二百年の間、死んだ人のために唱えるお経だと思われてきたのは大きな誤解。実はお釈迦さまが生きている人たちに語りかけた『How to Live』いかに生きるか。これが、母が産婆だった新井流の解釈」と満さん。

数え切れないほどの新しいいのちの誕生に立ち合ってきたお母さまのDNAがなせる業でしょうか。



中央突堤からモザイクを見る

震災ですべてを失った神戸の10年の歩みは「空即是色」だったのか……。そこにDNAはしっかり受け継がれているだろうか。

人生は思い出づくりの旅

この街で生まれ

この街で育ち

この街で出会いましたあなたとこの街で：

青春時代の一ページを過ごし、結婚し、三人の子どもが生まれた街・神戸。

「いろいろな人に出会い文化的刺激を受けたことで、電通神戸支局の一サラリーマンだったぼくがシンガー・ソングライターになり、映像を創るようになり、小説を書くようになった」。たぐさんの思い出が詰まって、いる神戸は、まさに第二のふるさとだと改めて感じたという満さん。

「人生は思い出づくりの旅。しあわせは、死ぬ時にどれだけの思い出を持っているかが問題で、預金通帳にどれだけの額を残せたかじゃない」。



◀ ポートタワーを背に

新たな思い出を抱えて満さんは東京へと帰っていった。私たちの胸に思い出を残して…。

(おわり)

文・乾世津子



花と鳥の楽園「神戸花鳥園」 3月15日グランドオープン！



神戸花鳥園 加茂元照社長

神戸空港の開港に伴い、新しいスポットが続々と誕生するポイントアイランド。3月15日、その最南端に花と鳥の楽園「神戸花鳥園」が誕生した。園内の床面積は、甲子園球場のグラウンドとほぼ同じ広さがある。

エントランスとなる長屋門内には、約28種類のフクロウを公開。フクロウの仲間は、世界に約140種類が生息するが、実物の生きたフクロウはほとんど見る機会がない。当初27種類約70羽のフクロウを公開。映画「ハリポッター」でも人気者になったシロフクロウも今後登場する予定。

館内で目を引くのは、球根ベゴニアを中心とした南花ゾーン。鉢に植えてあるスタンダードタイプのベゴニアや、頭上に吊つてある、ハンギングタイプの球根ベゴニアなどが館内いっぱい咲き乱れる。

園内の中心部には、大池が設けられ、より自然に近い鳥たちの姿を垣間見ることができる。

神戸花鳥園のご案内

●入園料(税込み)

大人(中学生以上)／1,500円(800円)
 小人(小学生)／700円(400円)
 シルバー(65歳以上)／1,000円(500円)
 幼児無料
 障害者 大人／1,000円(500円)
 障害者小人(小学生)／500円(300円)
 団体15名以上10%引

※()は4月20日までのグランドオープン期間割引料金

●開園時間

冬期暫定 9:30～17:30

●駐車場

普通自動 400台 1時間半まで無料
 大型バス 1回の出入り毎に 2,000円
 回送バスの駐車も

●交通

ポートライナー空港線に乗りし14分。
 「ポートアイランド南」駅下車

●ご連絡先

〒650-0047
 神戸市中央区港島南町7-1-9
 TEL: 078-302-8899 FAX: 078-302-8222
<http://www.kamoltd.co.jp/kobe/>



※写真はイメージのものも含まれています

「花と鳥とのふれあい」をテーマとしていることから、インコ類、オオハシ、クジャクなどたくさんさんの鳥たちが放し飼いにされている。

獲物を捕獲する以外はほとんど活動を行わないフクロウが、大きな翼を広げて目の前を通過する飛行調教ショーは圧巻。またペンギンや水鳥の餌付けも行われ、生き物たちと直にふれ合うことも。

園内には、花の販売、鳥にまつわるグッズなどが豊富にそろっただけでなく、花に囲まれたカフェテラスで休息のひとときを楽しむことも。ご家族連れやカップルで、花と鳥の楽園を満喫していただきたい。